

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより No.4
平成29年(2017年)6月1日

たてわり遠足で 「友だちを大切にする子」

武村節子



麦の穂が美しい黄金に色づき、水田を渡る風が涼しさを運んでいます。
水田の濃淡様々な緑とのコントラストが暑さの中にもさわやかに感じられるこの頃となりました。

さて、5月31日(水)には、“たてわり遠足”が行われました。今年も、全校児童の助け合いの気持ちの一つになり、すばらしい行事となりました。

午後から雨かと思っていましたが、暑い日になりました。この日のために6年生はメンバーの名前を覚え並ぶ順番や遊びの方法を考え、休み時間を削って計画しました。南須田の「やわらぎの郷公園」までの道のりを、1年生から6年生までのたてわり班でクイズを解きながら歩いて行きます。1年生の子どもたちにとっては、初めて長い距離を歩くので、歩き通せるか心配していました。でも、6年生がリーダーとなり、いろいろ気を配ってくれたので全員最後まで歩き通すことができました。6年生だけでなく班のみんなが声を掛け合い、お弁当の時間もすぐに始められました。芝生滑りが一番面白そうでした。鬼ごっこ・ドッジボール・だるまさんが転んだ・的当てゲームなど、1年生でも楽しめる配慮がありました。遊び方を工夫した班での遊びをとおして、「友だちを大切にする」子どもたちの優しい姿をいっぱい見ることができました。

週一回の「たてわり遊び」の取組やクラス遊び等の経験から、どのように行動すればよいかが自然と身についていることを実感しました。これからも学校教育目標の「郷土を愛し 心豊かで たくましい子ども」をしっかり育てていきたいと考えています。どうか変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

【芝生滑り】



【お弁当タイム】



【だるまさんが転んだ】



【的当てゲーム】



西小スタンダード（常識）になるように

【Part 2 はきものをそろえる】



「気持ちを整えること」と昔の人はよく言ったものです。玄関先でくつを脱ぎ捨てて家に上がるようでは困ります。そろえられたくつは、見た目が美しいだけでなく次の人への思いやりが感じ取られます。幼児期に良い癖がついているとそのまま小学校や中学校でほめられて育ち、自尊感情が高まり、仕事をしてからも人として良い人生を送れる気がします。